

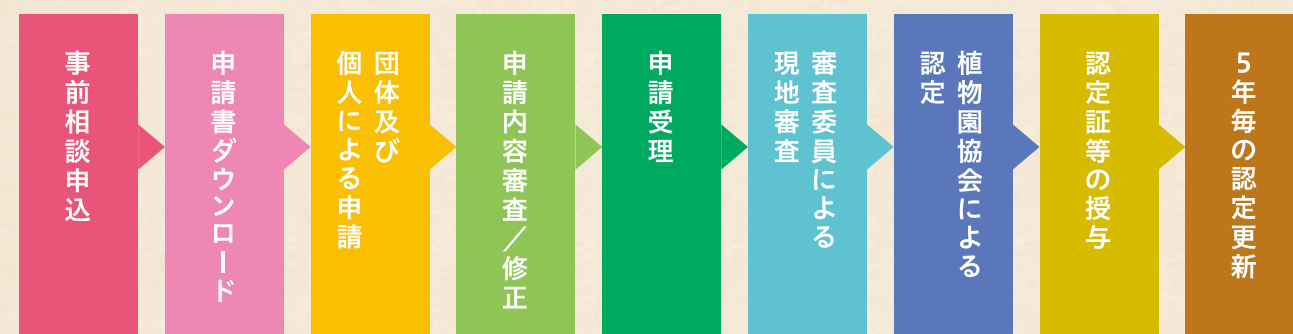
## 申請方法

本申請に先立ち、別紙または日本植物園協会ホームページの「ナショナルコレクション事前相談申込書」にコレクションのテーマや概略などを記入いただき、ナショナルコレクション委員会へご相談ください。申請可能となった場合、当協会ホームページの「記入要領」に従って、申請書、保有植物リストおよび写真をご準備ください。団体(単独・他団体との共同)でも個人でも、また愛好会などで会員が分散して所有している場合でも申請可能です。申請するコレクションの種数・個体数に制限はありません。

なお、普及啓発に供するため、コレクションや付随するデータは一部を除いて一般に公開することを原則とします。申請書、申請書記入要領、保有植物リスト、保有植物リスト・写真ファイル記入要領は、日本植物園協会ナショナルコレクションホームページ(<http://www.syokubutsuen-kyokai.jp/nc/>)からダウンロードできます。

## 申請から審査・認定までの流れ

日本植物園協会では、「ナショナルコレクション事前相談申込書」に基づき申請いただけるかどうかの判断をさせていただきます。その後に申請書を提出していただき当協会が委嘱した審査委員による審査を行います。認定された場合、認定証が交付され、日本植物園協会が定めた範囲内のコレクションの情報がホームページ等で公開されます。認定後は5年ごとの更新申請が必要となり、その都度、認定の基準を満たすことが求められます。



### 情報提供の お願い

日本植物園協会加盟園以外の団体・個人で貴重なコレクションなどをお持ちの情報がございましたら、当協会事務局内ナショナルコレクション委員会事務局までお知らせください。

申請に関するご質問はナショナルコレクション委員会までお気軽にお寄せください。



公益社団法人 日本植物園協会

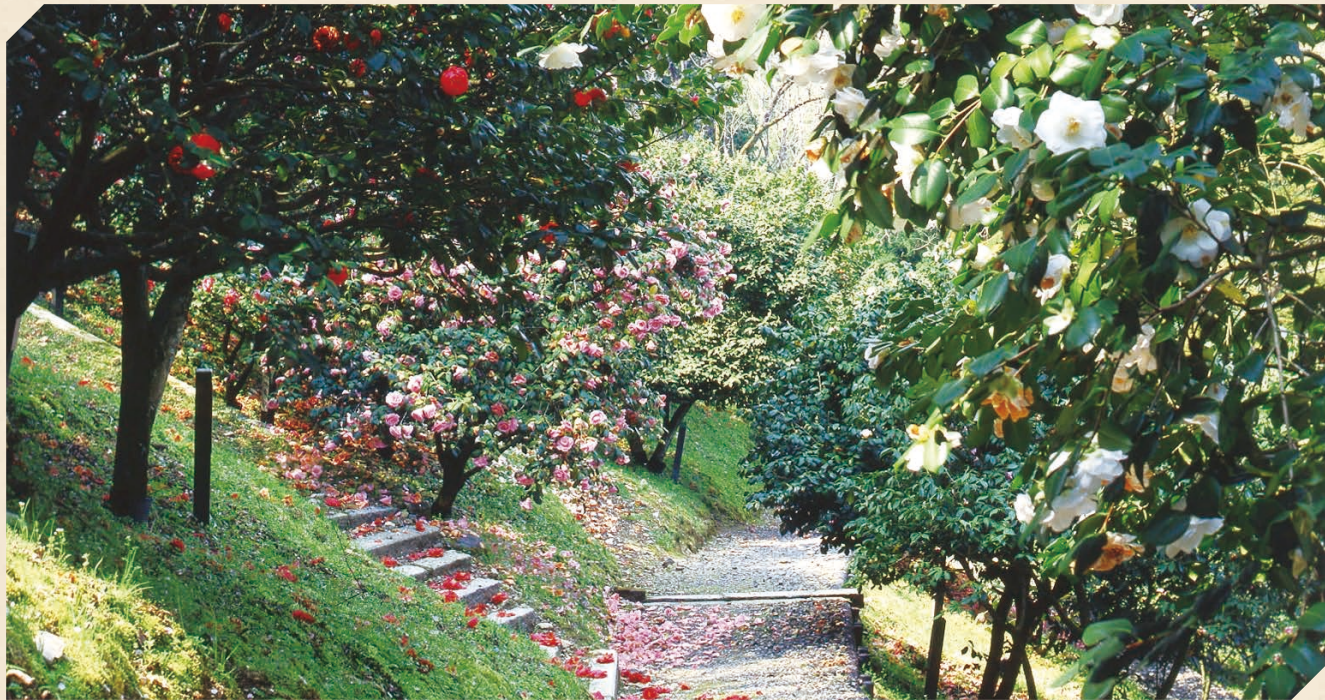
# NATIONAL ナショナルコレクション COLLECTION

— 未来への植物遺産 —



日本で栽培される  
貴重な植物を守り、  
後世に伝える





「武田薬品京都薬用植物園命名ツバキ品種群」 認定第1号 武田薬品工業株式会社京都薬用植物園

## 日本植物園協会の ナショナルコレクション

我が国には6,700種類を超える野生植物が自生し、それらや外国産種をもとに数多くの観賞用植物や有用植物が作出されてきました。さらに国内外から収集された野生植物、有用植物や園芸植物が栽培され、各地に数多くのコレクションが存在します。

しかし現在、日本の野生植物の約1/4が絶滅危惧種に選定されるのと同時に、日本の多くの貴重な栽培植物コレクションも消失の危機にさらされています。

日本植物園協会では、日本産の絶滅危惧植物の生息域外保全を目的とした「植物保全拠点園ネットワーク事業」を2006年から開始し、現在までに、絶滅危惧種の1,209種類(2020年3月末現在)を収集、保全してきました。

これに加え、2017年より「野生種、栽培種に関わらず、日本で栽培されている文化財、遺伝資源として貴重な植物を守り後世に伝えていく」ことを目的とした植物コレクションの保全制度であるナショナルコレクション認定制度を開始しました。認定されたコレクションを永続的に

保全し、かつ情報を集約し公開することは我が国の植物や園芸文化の継承と発展にとって有益なこととなります。

現在、イギリスやフランスなど園芸文化が深く日常生活に根付いている国々では、自国で栽培される野生種や栽培品種などを守るための取り組みが行われています。我が国でも、ナショナルコレクション認定制度によって、それら貴重な植物コレクションを守り、後世に伝えていくことが可能となります。さらに、コレクションとして蓄積された植物と情報は、新たな品種の開発、遺伝子の解析、生物多様性の保全、生理・生態の解明、新たな植物加工素材の研究開発など、様々な場面での将来の活用が期待されます。



「神代植物公園サクラソウ品種コレクション」 認定第2号 神代植物公園

## 申請できる コレクションは？

ナショナルコレクションに申請するためには、コレクションのテーマが必要となります。植物園や愛好会などの団体もしくは個人が保持する、伝統園芸植物(伊勢撫子や細辛、松葉蘭など)、園芸品種(ゼラニウム、ツツジ、ツバキなど)、植物学的な分類群(ウツボカズラ属など)、生育環境(高山植物、湿生植物など)や地域、利用方法(ハーブ、薬用植物など)、歴史的背景を有するなど、一定のまとまりがある体系的なテーマを持つ植物コレクションであれば申請することができます。ただし、コレクションを構成する植物は、遺伝資源として保存する価値を有することが必要です。

詳しくはナショナルコレクションホームページをご覧ください。か、日本植物園協会までお問い合わせください。

## ナショナルコレクション 認定のメリット

- 団体・個人のコレクション保持者(ナショナルコレクションホルダー)には日本植物園協会の大会時に認定証を授与するとともに、植物コレクションの情報を当協会ホームページに公開いたします。認定植物の特性や栽培情報を公開することで、貴重な植物の保全に役立つだけでなく植物コレクションの価値向上に繋がります。
- 日本植物園協会が発行するニュースレターやプレスリリースなどを通じて植物コレクションが広報されるほか、「ナショナルコレクション」の名称を啓発活動や広報活動などに利用することができます。
- 認定された植物コレクションの社会的な存在価値や役割が向上することで、コレクションがさらに充実し、植物園等においては、集客に寄与することが期待されます。
- 貴重なコレクションの存続が危ぶまれる際に、他への橋渡しを行うことでコレクションを永続的に保全することができます。



ハス‘巨椋の鰯’  
「巨椋池(おぐらいけ)由来のハス」 認定第3号 宇治市植物公園



ストレプトカーパス・フォルモスス  
「兵庫県立フラワーセンターストレプトカーパス属コレクション」  
認定第4号 兵庫県立フラワーセンター



ビャクシン‘桜伊出いぶき’  
「江戸時代の奇品植物」 認定第6号 浜崎 大



「変わり葉ゼラニウム品種群」 認定第7号 広島市植物公園